

連続した自然災害で被害に遭われた方々、  
そしてご家族の方々へ心よりお見舞い申し上げます



わたしたちは、被災した子どもたちや乳幼児家庭を対象としたホームスタート・  
ジャパンの募金活動に賛同します。  
よろしければ寄付のご協力をお願いいたします。



### ピッコロさんはありがたい存在です!

清瀬市子ども家庭部 部長 田村晶子

私の両親は共働きでした。私が小さい頃は、そういう家庭の方は圧倒的に少なく、母親は家にいるのが普通でした。私は当時としては新しかった団地住まいで保育園に入っていました。登園やお迎えの時間が母の仕事と合わず、保育園の前後にはよく階段のお向かいさんや上の階の方、別棟の知り合いの方等いろいろなお宅に預けられたものでした。そして、そういうお宅にも大抵子どもがいました。当時は今よりもずっと子どもがたくさんいて、特に団地は子育て家庭が多く入居していたので、団地の中の公園や近くのスーパーや商店街には子どもたちが溢れかえっていました。当時は保育園も大らかで、両親が私のお迎えを忘れた時は保育園の先生が自宅に泊めてくれたこともありました。こうして色々な方に助けて頂きながら、母は私を育てたのです。周り中が子育てをしているような社会でしたので、自分の親以外でも、ルールを守らなければ近所の方や知り合いのお母さんに注意されました。それこそ、地域全体で子どもを見守り、育てていた感じでした。「古き良き時代」だったのでしょね。

時代は変わり、今は子育てをしている世代の方が、本当に少なくなったと感じます。ご近所にお子さんを預けるなんてことはないのではないのでしょうか。子どもをめぐる様々な事件も多く目にするようになりました。子育てがしづらい時代なのかもしれません。

そんな中、ピッコロさんの存在、そしてきめ細やかな心に寄り添った暖かい支援は、子育て中の中の立場にとってもどんなに心強いことでしょう。市としても、ありがたく誇らしく思い、大変感謝しています。子育ては一人一人育てるので苦勞も多いですが、それ以上に幸せもくれるものです。これからもピッコロさんと協力しあって、子育てされている方を応援していきたいと思っています。

## 2020年4月からの一時預かりでの支援者の自家用自動車使用について

当団体独自の一時預かり事業において、支援者の自家用自動車を使用しての送迎等を、対応できる支援者がいる場合に限り、保育の一環として行ってまいりました。しかしながら、皆さんもご存知の通り、車を使用するの預かりはリスクが高くなっており、この度、リスクマネジメントの観点から、支援者の自家用自動車を使用するの送迎等について、規定の見直しを行いました。

来年度4月からは、利用者と支援者双方に覚え書きを書類にてご提出いただいた上で、支援実施となります。また、自家用自動車を使用できる支援者は限られているため、利用者のご希望に添えない場合もあります。どうぞご理解いただき、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

**重要な  
お知らせ**



## 2019「清瀬市赤ちゃんのチカラプロジェクト」への ご協力ありがとうございました！



今年も市内全中学校の赤ちゃんとのふれあい体験を無事に終了することができました。お手伝いくださったスタッフの皆さま、そして、なにより、小さくて大事な赤ちゃんと一緒に連れてご協力くださった保護者の皆さまに、あらためて感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。今回、ほんの一部ではありますが、保護者の方々の感想をご紹介します。ご縁のあった赤ちゃんから中学生…子どもたちみんなが、これからすすすく、のびのびと育つことができる街、清瀬でありますように。本当にありがとうございました。



- ♪ 普段すれ違っている中学生の子達が身近な存在になりました。
- ♪ 生徒さん達が照れながらも優しく接してくれる姿に心温まりました。
- ♪ 息子にも良い刺激になったと思います。
- ♪ 思った以上に授業に前向きな生徒さんが多く、積極的に抱っこしてくれました。清瀬はいい街だと思いました。
- ♪ 我が子を見て触って抱っこしてくださる皆さんの笑顔を見ていたら、充実感でいっぱいになりました。子育てを通してこのような経験をさせていただくことができ、生まれてきてくれたことに、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。



♪ いまどきの中学生は冷たいイメージがありましたが、赤ちゃんを目の前にすると笑顔になって、優しく接してくれていました。特に男の子の中でも、とっても積極的な生徒もいて、将来、良いお父さんになるんだろうと想像ができました。久しぶりに引退されたつどいのスタッフさんに会えて、とてもうれしかったです。

♪ 赤ちゃんの子育ての大変な時期は一瞬で終わる…というのを中学の生徒さんを見て実感しました。みんなが癒されると言ってくれた言葉を忘れず、毎日を穏やかに過ごせると良いなあと思いました。

- ♪ 中学生たちは道徳でも命について勉強したようです。最後の感想もきちんと発表していて立派でした。私自身も参加の意味など改めて考えさせられました。
- ♪ 中学生たちの一生懸命あやしたりそっと抱っこしたりする姿を見て、赤ちゃんの力って凄い!と改めて感じました。また、自分の赤ちゃんを可愛いと言ってもらえたり、お母さんって凄いなと思ったという子がいて、育児の自信につながったり、認めてもらって嬉しかったり…。中学生、お母さん、赤ちゃん、それぞれに意味がある活動だと思いました。
- ♪ 中学生が自分も大事に育てられたんだということを感じて、親との会話のきっかけになれば嬉しいです。
- ♪ スタッフの皆様ありがとうございました。入り口でのお迎えから細やかな心配りやサポートが嬉しかった。
- ♪ 赤ちゃんも親もスタッフも先生も、それぞれ大変ですが、少子高齢化の時代の中で、赤ちゃんに触れる機会をこうやって地道に作ってくださることに感謝します。「子は宝」と言いますが、この場に居合わせた皆がそう思ってくれていると良いな。この取り組みをぜひ継続してほしいです。



体験した中学生の声もお届けします！近日中につどいの広場に用意する予定であります♡





## 私の子育てとピッコロ

支援者 H・Kさん

私が子育てをしていたのは、もう20年以上前…「公園デビュー」「公園ジプシー」という言葉が聞かれるより前の世代…（今のお母さん達には、聞いたことが無い言葉かもしれませんが…）自分の子どもが他のお子さんともめたりしないか心配で…

なんて、それは、言い訳で、公園に来ているお母さん達の輪に入れず、楽しそうに遊んでいる子どもたちを横目に娘を連れ、近くの公園をあちこちまわる日々…。

夜泣き、離乳食を食べてくれない、トイレトレーニングが進まない…育児の大変なこと、自分だけみたいにして、子どもを受け入れられない時期がありました。

そんな私を助けてくれたのは、育児相談で出会った先生をはじめ、近所の先輩ママさん達でした。おかげで育児放棄することなく娘を育てることが出来ました。

数年前、自宅のポストに入っていた「ファミリー・サポート きよせ」の保育サービス講習会のチラシを見て、今度は子育てのお手伝いが出来たら…と受講。講習会終了後、ピッコロさんに入会して6年になります。その間、ホームスタートの講習も受け、ホームビジターとしてもご家庭と関わることが出来ました。

これまでK-netひろばや他の団体保育、送り迎え…などたくさんのお母さん、お子さん達と出会い、応援するつもりが、逆にパワーをもらうことが多い気がします。

ピッコロの子育て支援は、子育ての「大変」「つらい」「楽しい」「うれしい」…など、子育ての様々なことを分かち合える…そう思っていたら嬉しいと思い、お手伝いさせていただいています。保育のプロでもなく、自分の子どもは一人っ子で子育て経験も少ない私ですが、微力ながら応援させて頂きたいと思います。



## ホームスタート・ピッコロ



### 子どもの気持ちに寄り添う支援

ホームビジター養成講座を終え、4名の方が修了しました。8名受講の予定がご家族の都合などで受講できなくなり、4名と少人数で皆さん緊張されている様子でした。約2か月間8日間の研修でしたが、最終日には素敵な笑顔で、修了証を手に入れました。

最終日のランチ交流に、先輩ビジターを3名お迎えし、ホームスタートの活動を通してのお話をしていただき、修了生の方々は訪問のイメージが出来たようでした。

ホームビジターの訪問で子育てしている家庭が幸せを感じていただける瞬間がたくさん生まれるかと願っています。



素敵な出会いがありますよう願っています。

「困った家庭は 困っている家庭!？」と題して当法人の全事業対象のスキルアップ研修会を行った。講師は子ども教育宝仙大学の上村宏樹氏をお迎えし3回目。

現在日本では、4万人以上の子どもたちが、社会的養護(里親・乳児院・児童養護施設など)の下で暮らしており、児童虐待相談対応件数も増加の一途をたどり、今や虐待やDVはとてつ大きな問題となっています。決して他人ごとではない私たちの身近な問題として、社会全体でする子育ての課題について考えていってほしい先生です。

スキルアップ研修会では、一つの家庭に焦点をあて、親や子どもが何に困っているのか、支援者はどうしたらいいのかをグループで話し合い考えを深めました。35名の支援者に有意義な時間でした。

《会員状況 2019.11.1 現在》正会員 65 名・準会員 114 名・賛助会員 15 名（個人 12 名・法人 3 名）

◇3,000 円以上寄付者・23 名◇

寄付者：匿名 5 名・・・ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

●賛助会員●

法人会員

新鮮こだわり中国料理



同心居



●スガハラ印刷



\* NPO の活動を維持していくため、ピッコロでは寄付を募っています。事務所にばち袋も用意していますが、直接お振込みくださる方もいらっしゃいます。会員の皆さんに限らず、お知り合いの方へもお声掛けいただくと嬉しいです。お気持ちをお願いします。

【寄付お振込先】 ゆうちょ銀行【口座名】 子育てネットワーク・ピッコロ【口座番号】 00190-6-602187

9 月～10 月の動き		— これからの活動予定 —	
○ピッコロ	△K-net、つどいの広場	◆ファミサポ	HS=ホームスタート HV=ホームビジター
9/2(月)△K-net 運営会議	△つどいの広場調整会議		11/1(金) 10:00～○定例会(アイレック会議室)
9/3(火)○定例会			11/2(土) 9:00～ ○ルーム職員会議(事務所)
9/4(水)◆サブ/アド調整会議			11/4(月) 9:30～ ○支援者交流会(第七小学校)
◆近隣市アドバイザー研修会(東久留米市)			13:00～△つどいの広場調整会議(元町つどいの広場)
9/6(金)△K-net リフレッシュ講座			11/5(火) 9:30～ △K-net 運営会議(事務所)
9/7(土)○ルーム職員会議			11/6(水) 9:15～ ◆サブ/アド調整会議(事務所)
9/9(月)○豊島区職員来所			11/8(金) 10:00～△K-net 子育てひろば(アイレック会議室)
9/10(火)◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)			10:30～養育支援ヘルパー養成講座
△中学生職場体験(つどいの広場)			～11/15、22、29、12/1、5
9/11(水)△K-net 中里ひろば			11/9(土) 9:00～ ○ルーム職員会議(事務所)
9/11(水)～10/23(水)HV 養成講座講座			11/11(月) 9:30～HV スキルアップ研修会「多胎育児家庭支援」
9/11(水)12(木)○赤ちゃんのチカラプロジェクト(五中)			11/12(火) 12:30～◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)
9/13(金)△K-net 子育てひろば/DD ユニット調整会議			11/13(水) 9:30～△K-net 子育てサポーター養成講座
9/19(木)20(金)○赤ちゃんのチカラプロジェクト(四中)			(消費生活センター)
9/27(金)△K-net 子育てひろば			11/15(金) 18:30～○第 54 回理事会(事務所)
○支援者スキルアップ研修会			11/18(月) 13:30～HV スキルアップ研修会
10/1(火)○正会員のつどい			「外国にルーツをもつ家庭支援」(新宿区戸塚地域センター)
10/2(水)◆サブ/アド調整会議△K-net 運営会議			11/20(水) 9:30～ HV 学齢期家庭支援研修会(セミナーハウス)
10/3(木)～10/30(水)◆保育サービス講習会			11/22(金) 9:30～ ODD ユニット調整会議
10/5(土)○ルーム職員会議			10:00～△K-net 子育てひろば(アイレック会議室)
10/7(月)△つどいの広場調整会議			12/2(月) 10:00～ ○正会員のつどい(けやきホール/第 3 会議室)
10/8(火)◆3～4 か月健診(ファミサポ説明)			13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場)
10/9(水)△K-net 中里ひろば			12/3(火) 10:30～ △K-net 運営会議(事務所)
10/15(火)○事業責任者会議			12/4(水) 9:15～ ◆サブ/アド調整会議(事務所)
10/17(木)18(金)◆全国アドバイザー交流会講習会			12/6(金) 18:30～○ルーム職員会議(事務所)
10/20(日)△K-net リフレッシュ講座「V/Pと遊ぼう」			12/7(土) 10:30～HV ホームスタート 10 周年記念フォーラム
10/23(水)○地域子育て支援センター検討委員会			(江東区森下文化センター)
10/25(金)△K-net 子育てひろば			12/9(月)○学齢期校長会説明
10/28(月)△K-net リフレッシュ講座「ストレッチ」			12/11(水) 13:00～○サンクスギビングデー(シルクホール)
10/30(水)○助成金説明会(立川)			12/12(木) 15:00～○学齢期支援本部説明
10/31(木)子ども・子育て会議			12/13(金) 10:00～△K-net 子育てひろば(アイレック会議室)
ルーム運営委員会			

《編集後記》  
 ホームスタートが清瀬の事業として始まり十周年。出生数は減少の一方なのに、利用者が年々増えている。親がいても仕事や遠方で頼れない。友人がいて小さい子どもがいるから話せない。子育ての情報があふれ、子どもにどう接していいか、どう遊んでいいか、誰かに頼らないとやっていけない。「子どもとの遊びを頑張っている。こんな私の話を聞いて欲しい」と子どももほんの少しビジターと一緒に話したり、子どもと遊ぶことで笑顔になっていく。今号の支援者さんは「子育ての『大変』『つらい』『楽しい』『うれしい』など、子育ての様子などを分かち合える。ピッコロの活動を評価してくださった。ご自身の辛い子育て体験も身してくださり、私も胸が熱くなった。「私たち夫婦だけで子育てするのは限界がある」と支援を依頼しホームスタートを利用してくださる方、支援に当たってくださる方、双方に思いを寄せ、活動していきたい。一家庭だけで一手時代では無い。